

宮作便り 第22号

平成19年9月28日発行

みかえり阿弥陀像

社長 宮本慶太

今年の春に、私用で京都に行く機会がありました。時間がありましたので、2～3のお寺を観てきました。その中で、心に残る阿弥陀像がありましたので、紹介いたします。

有名な南禅寺から銀閣寺に向かって歩き、5分ほどの永観堂と言う中にある、「みかえり阿弥陀像」です。写真を観て分かるように、左肩越しに振り返っておられます。短く云われを書きます。

永保2年(1082)、偉いお坊さん永観、50歳のころである。2月のある日、永観は底冷えのするお堂で、ある時は正座し、ある時は阿弥陀像のまわりを念仏して行道していた。すると突然、須弥壇に安置してある阿弥陀像が壇を下りて永観を先導し行道をはじめられた。永観は驚き、呆然と立ちつくしたという。この時、阿弥陀は左肩越しに振り返り、「永観、おそし」と声をかけられた。その尊く、慈悲深いお姿を後世に伝えているそうです。さて、ここで皆さんに紹介したいのが、次の和歌です。

みな人を渡さんと思ふ心こそ
極楽にゆくしるべなりけれ

(千載和歌集)

上の和歌は永観が、「みかえり阿弥陀如来」のお姿を詠んだものです。現代風に解釈すると、次のようになるそうです。

自分よりおくれる者たちを待つ姿勢。

自分自身の位置をかえりみる姿勢。

愛や情けをかける姿勢。

思いやり深く周囲をみつめる姿勢。

衆生とともに正しく前へ進むためのリーダーの把握のふりむき。

真正面からおびたしい人々の心を濃く受けとめても、なお正面にまわれない人びとのことを案じて、横をみかえらずにはいられない阿弥陀仏のみ心。(永観堂HPより、一部使用)

阿弥陀像の前で、蟻の一步でも近づきたいと手を合わせてきました。



お墓参り

総務経理部 河内順子

異常な暑さの中、つい先日お盆が過ぎたと思っていたのにもう秋の彼岸です。このどちらにもかかさずに理屈ぬきで私がしている事と言えば「お墓参り」です。このお墓参りですがいつも不思議に思っていた事がありま

す。特にお盆のお墓参りです。

よく言うよう

にお盆には迎え

火を焚いてご先祖さまを自宅に

お迎えするはず、そうすればお墓の中には誰もいないのでは？

誰もいないお墓をお参りするのはどうしてかな？という思いでした。ところが今年の夏この思いが解消したのです。自分なりに解釈してすっきりしたのです。



それは仏教の質問箱というところ

に私と同じ思いのことが載っていたのです。それを読んで共感したのです。昨年の暮れから私も時々耳にすると頭の中でぐるぐると回ってしまうのですが、「千の風になって」という歌で

「千の風になって」という歌です。ご存知の通り歌の内容は「私のお墓の前で泣かないで下さい。そこに私はいません眠ってなんかいません。千の風になってあの大きな空

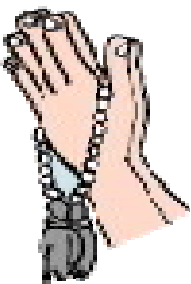
を吹きわたっています」という歌詞ですが、これは仏教の考えに近いのだそうです。そしてこの歌のようにご先祖さまはお墓にはいないのだそうです。お墓の中にあるのはご先祖さまの骨でありご先祖さま（魂）は仏様の元におられるのだそうです。

仏様の元におられて佛国土から

我々家族を見守ってくれているのだそうです。その方がお盆になると自宅の仏壇がお墓に戻ってこられるから、お供えしたりお墓を掃除したりしてお参りするのだそうです。もつと細かい説は色々あるのでしょうかけれど

も何となく自分で納得できたのです。そして眠っていては仏さまの元にはいられないから「安らかに眠り下さい」ではなく「仏様の元で残された我々をお守り下さい」とも書いてありました。

今日のお彼岸のお参りも何か一歩進めた気持ちで済ませて来ました。



国道給油所 木村竜也



皆さん、初めまして今年から宮作の一員となった新入社員の木村竜也です。私は高校卒業後すぐに就職しました。大学や専門学校行つたつて勉強だし、卒業したら最終的には働かなきゃいけないなら今の内に働いておこうなんて思い就職しました。前からスタンドで働いてみたいと思っていた時、ちょうど宮作の求人が来てたのですぐに手紙を出し面接の練習を始めました。面接当日、あれだけ練習したのに緊張して言いたい事は何も言えませんでした。そんなこんな

で不安な毎日が過ぎ、面接の結果が来ました。結果は合格！とても嬉しかったしほっとしました。これが宮作に就職するまでの過程です

次に入社した後の話なんですが、入社した後大変でした。右も左も分からない状態でしたが、皆さんが優しく教えてくれたので諦めずに頑張る事が出来ました。

最後にまだまだ知らない事が多く皆さんに助けてもらう事があるかもしれないですが、頑張つて行こうと思うので宜しくお願いします。

休日の過ごし方

村上給油所 佐藤武人



入社して五ヶ月が経とうとしていますが、宮作の方々には本当に良くしていただき本当にありがたく思っています。

作文を書く事になり趣味は何だとか、今は何にはまっているとか書きたいのですが、無趣味

なものでこれと言って何も見つけられません。趣味のない私の休日は寝て過ごすだけの退屈な日々です。

新潟県に友達がいる訳でもなく、入社当時は休みの度に山形県に帰っていたのですが、この頃は面倒くさくなり家でゴロゴロしているのがほとんどです。何か趣味でも作ったり、友達を作ったりしてこれからの休日はもっと有意義なものにしていきたいと思っています。

仕事では一日でも早く皆さんに迷惑をかけずに、少しでも力になれるように頑張りたいと思

います。これからも皆さん宜しくお願い致します。

編集後記

毎年同じ事ですが、今年も暑い夏が過ぎ、爽秋の季節になってきました。出かける機会も増え夕暮れも早くなりました。車の運転には十分注意しましょう。次号は木村部長、本間千秋さんに原稿お願い致します。

総務経理 岩澤栄子

社内連絡

今年の健康診断は十月二十六日(金)時間は例年通りの予定です。都合をつけて必ず受けてください。

交通安全 五七五 川柳の特選句ご紹介します。

人格も 車に乗せて ありがとう

新潟県異業種交流センター選